令和8年（2026 年）11 月

札幌市立上篠路中学校

令和８年度　全国学力・学習状況調査　実施報告

令和 8 年 4 月 23 日（木）、30日（木）に実施された全国学力・学習状況調査の結果から、本校生徒の生活習慣や生徒自身に関わること、学習に関わることについて、課題や改善の方向について検討した結果をお知らせいたします。保護者・地域の皆様にご覧いただき、本校の学習状況についてお知りいただくとともに、今後、学校・家庭・地域が一体となった教育の一層の充実に向けて、ご理解とご協力をお願いいたします。

【質問紙調査】　生活や学習に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

1. 生活習慣に関わること

○「朝食を毎日食べている」と回答した生徒が 92.3%（全国 90.9%）、「毎日同じくらいの時刻に寝ている」と回答した生徒が 83.8%（全国 80.5%）、「毎日同じくらいの時刻に起きている」と回答した生徒が 87.7%（全国 92.4%）でした。概ね、規則正しい生活習慣が身に付いていると考えられます。今後も心と体の健康を維持するための睡眠、朝食の重要性を伝えていきます。ご家庭でもご指導いただけると幸いです。

2. 生徒自身に関わること

○86.2%（全国 84.0%）の生徒が「自分にはよいところがある」と回答し、98.5%（全国 90.9%）の生徒が「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答しました。これからも“さっぽろっ子「学び」のススメ”の子ども観・教育観を大切にし、“まほうのかいわ”で習慣づくりに努め、コミュニケーションを増やし、これまで以上に子どもの成長を促していきたいと思います。

○95.4%（全国 91.2%）の生徒が「友達関係に満足している」と回答し、83.0%（全国 78.6%）の生徒が「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と回答しています。一方、「学校に行くのが楽しい」と回答した生徒が 89.3%（全国 85.4%）と回答しています。今後も学ぶことの必要性を感じて、生き生きと生活できる学校づくりに努めていきたいと思います。

○96.9%（全国 95.9%）の生徒が「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答しました。ただ、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」との回答が 66.1%（全国 72.3%）という結果でした。人の役には立ちたいと思いながらも、どのように活動していけばいいのかがはっきりしない生徒がいることが想定されます。コミュニティースクールの動きや“さっぽろっ子自治的な活動”を通し、様々な体験活動等を取り入れながら、自分の興味・関心などの個性を理解させ、将来の生き方、働き方等を考える力を育成していきたいと思います。

3. 学習に関わること

○1、2年生のときに受けた授業では、「自分の考えを発表する機会では、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」と回答した生徒が 76.9%（全国65.5%）となったものの、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した生徒が 70.8%（全国78.8%）、「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた」と回答した生徒が 60.0%（全国70.8%）と全国平均を下回る回答となりました。生徒自身が課題を見つけ、主体的に学習（課題探究的な学習）に取り組む態度を養いながら学びを深めていくことができるよう、一層育みたいと思います。

○学習した内容について、「よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と回答した生徒は 64.6%（全国 79.0%）、「次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる」と回答した生徒は 73.9%（全国 78.0%）でした。全国平均よりは低いものの、昨年度よりは大幅に増えていることがわかります。計画的で系統的な学習活動を展開すると同時に、授業の内容を実生活で自分事として捉えられるよう、工夫して指導していきたいと思います。

○「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と回答した生徒は、98.5%（全国91.3%）でした。「学校生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」と回答した生徒は 87.7%（全国 84.5%）、「学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」と回答した生徒が 81.5%（全国 77.8%）でした。道徳の授業を通して身に付けた協働的な学びを学校生活だけではなく、家庭や社会で生かせるよう、教科の授業や学級活動などで対話や交流の場面を効果的に設定し、学びを促進していきたいと思います。

4. ICT（情報通信技術）について



○「あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか」と回答した生徒が 86.1%（全国 84.8%）、「あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか」と回答した生徒が 95.4%（全国 90.9%）、「あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか」と回答した生徒が 87.7%（全国 80.0%）でした。今後も効果的な活用方法を研修、共有し、思考力・判断力・表現力の育成につなげて行きたいと思います。

【中学校国語】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【内容】 □「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均を上回っている。	⇛文章に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと。	○動詞や形容詞、形容動詞、名詞、副詞など様々な語句について取り上げ、語句の量を増やすとともに、話や文章の中でどのように使用されているかについて考える学習活動を充実させる。
□情報の扱い方に関する事項 ・全国平均を上回っている	⇛情報と情報との関係を様々な表し方を理解し使うこと。	○伝えたい内容が適切に伝わるよう効果的に資料や機器を活用する学習活動の充実をはかる。
□「話すこと・聞くこと」 ・全国平均を上回っている。	⇛必要に応じて質問しながら話の内容を捉えること。	○意見とそれを支える自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確かめて書く学習活動の充実をはかる。
□「書くこと」 ・全国平均を上回っている。	⇛表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、良い点や改善点を見いだすこと。	○伝えようとすることが伝わるように、読み手の立場に立って、文字や表記が正しいか、漢字と仮名の使い分けが適切かなどを確かめて文章を整える学習活動の充実をはかる。
□「読むこと」 ・全国平均を上回っている。	⇛目的に応じて必要な情報に着目し、内容を解釈すること。	○作品の場面をとらえてその構成を理解するだけでなく、登場人物の心情の変化に沿って文章の流れを捉え、その展開を把握する学習活動の充実をはかる。

【中学校数学】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】		
□「数と式」 ・全国平均を上回っている。	⇒同類項の意味を理解すること。	○多項式について考察する場面において、各項を係数や文字の種類、次数などに着目して分類する学習活動の充実をはかる。
□「図形」 ・全国平均を上回っている。	⇒具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすこと。 例）角の二等分線の作図を行った際の仮定や結論を答える。	○与えられた条件や示された図から証明する事柄の仮定と結論を明らかにし、数学的に表現できるような学習活動の充実をはかる。
□「関数」 ・全国平均を上回っている。	⇒反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、xの値に対応するyの値を求めること。	○具体的な事象について、観察や操作、実験などの活動を通してニつの数量の関係を捉え、比例や反比例の関係を見いだすことができるような学習活動の充実をはかる。
	⇒数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に証明すること。	○自分の考えた解決の方法を表現したり、問題解決を振り返る場面においてどのような方法で解決したのかをまとめたりする学習活動の充実を図る。
□「データの活用」 ・全国平均を上回っている。	⇒箱ひげ図と四分位数の対応について理解すること。 ⇒データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明すること。	○箱ひげ図に表して複数の集団のデータ分布の傾向を比較したり、四分位数などを読み取ったりすることを通して、箱ひげ図の必要性と意味を理解できるような学習活動を充実させる。 ○必要なデータを収集して分析し、データの分布の傾向を捉え、その結果を基に批判的に考察し判断するという一連の学習活動の充実をはかる。

【中学校英語】

公開問題の結果から見る、教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

今回の調査における課題

〔領域〕

【聞くこと】

⇒日常的な話題に関する内容を聞き、概要を捉えること。

【読むこと】

⇒日常的な話題に関する内容を読み、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ること。

【話すこと［やり取り］】

⇒「考えや意図を伝える」という言語の働きなどの知識を、実際のコミュニケーションにおいて活用すること

【話すこと［発表］】

⇒日常的な話題について、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すこと。

【書くこと】

⇒社会的な話題に関する内容を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くこと。

改善の方向

○話される順番に着目して英語の音声を聞く活動や聞き取った情報から場面の移り変わりを整理し、概要を捉える学習活動の充実を図る。

○文章から得られる情報を理解したり、文章を読む中で、読む目的やどのような情報を読み取るべきかを明確にしていく学習活動の充実を図る。

○生徒が話しやすいテーマで、事実や自分の考えなどを話したり、質問したりする学習活動の充実を図る。

○「話すこと［やり取り］」の活動を充実させ、「話すこと［発表］」につなげる学習活動を充実させる。

○文章を読んで要点を捉えた後、自分の考えをメモに整理したり、簡単な「書くこと」の活動を繰り返し、生徒同士でコメントさせ合ったり、教師からのフィードバックを与えて表現を考えさせたりする学習活動の充実を図る。